

萬國新聞紙 第一
慶應四年戊辰五月

西垣文庫
文庫10
7370



持 文庫10
7370

萬國新聞紙第一



英國教師

ヘーリー先生編

前集 日本商人二人の不正なる支件を出し諸

人の報告も是亦懲悪の意あり

在滬外国人皆契約不正の者を此新聞紙に

加へ出して其罪を顕わさん

方今日本に於て拳国盛に砲術を採練するに因

て今爰に施條銃狙突直中法を拳を指示するに只

近き距離のくちを以て新發明施條銃の達する遠

西垣文庫

一ノ一
距離を命中するは法を与るん余最小江都に在
し特余が親友の藩邸にて狙撃を試むるを觀し
五十ヤルドより八十ヤルドの如く標的を置
き試むる夏燄細き如くも遂小一度も命中する
夏燄をばうくの如く總の距離を中ける夏燄を
ほんば何ぞうく遠く戦中て得んや且當今戦争
には近く接するは四百ヤルドより八百ヤル
ド迄の遠きに在て戦ふ故に命中を熟せんめて
近きも一百五十ヤルド又ハ二百ヤルドを隔て

一ノ二
高標的を置演習をば今試ふ五十ヤルドの
離し一小標的を置き五発一中する者をして
五百ヤルドの隔りの大なる標的を中て去る
で五十発しして僅し一中するあつべし爰に次
の二條に注意にべし第一其の銃を淨潔にす
也第二其の銃を正直に持てる若し濇潔に
置るんば銃を損する夏燄少くは且筒中不潔
なる時ハ彈丸飛して狙撃し難直中せしむ
る夏燄をば故に放發し後ハ速に掃除す

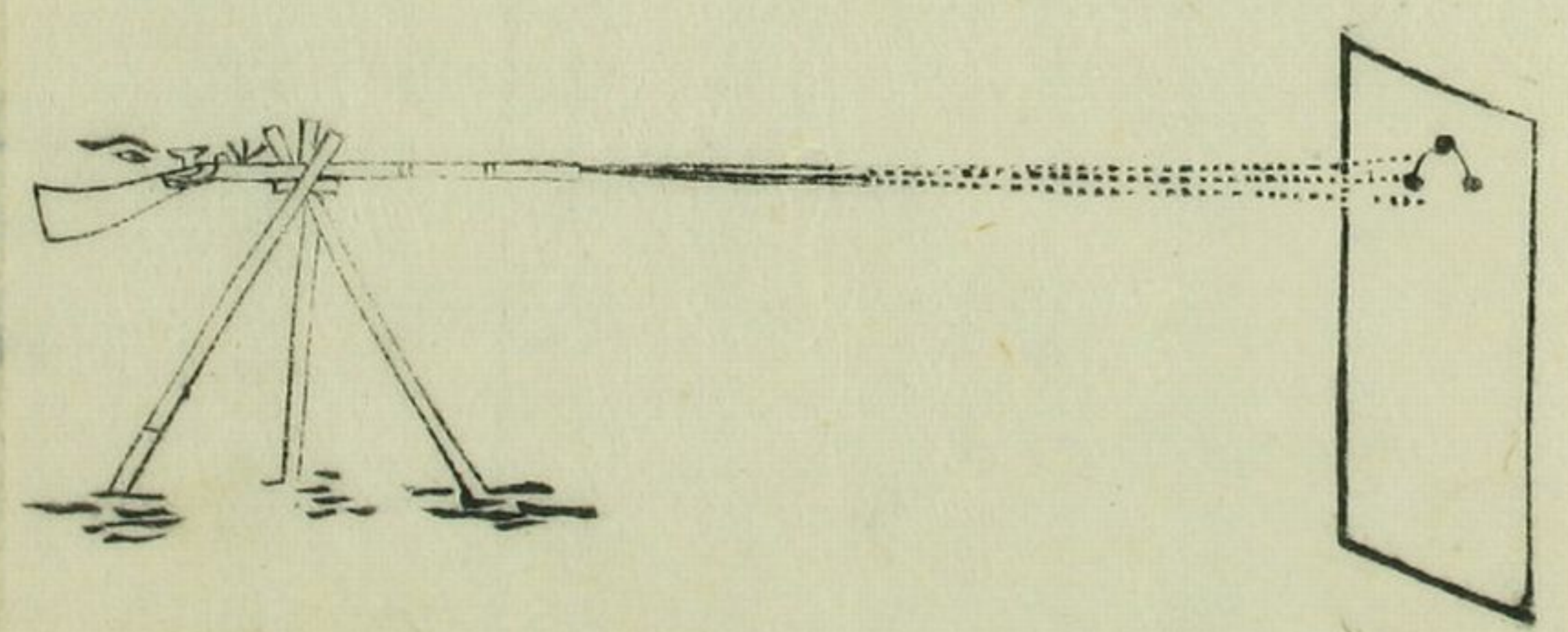
尋常演習に用ひし時ちりしは煙埃附着
 故に「ラック」を柵杖の端に挿し筒中
 を拭ふる「ロク」金銀並に漆のハ大抵取り変を禁
 じ若し取る時の臺木を損するのこちりに再び
 能く合さる故に兩中では兩水の漏き入る法恐
 り此筒中を掃除する法を与ふべし放祭
 ぎ後ハ鷄頭を十分攀げ柵杖の端を「ラック」を
 以て包み筒尻より合を善くは右手より巢口
 の少く下部を持ち火門を前の方より圍の

如くみし水を火門より流し
 出さるべし筒中より冷水を洒
 ぎ入る柵杖を以て
 上下するを
 数回繰り返して濁水
 を流し出し再三清冷水を
 以て前の如く上下し清潔に至りて止む熱湯ハ筒
 中残暖むる故に變じて用づるに若し筒中熱
 氣ちりと見れば冷氣を吸ひ濕汗を生ず是を拭ふ



雖も全くと冷やうし至らざるは水気を盡さざると
 能はざるが故なり而して乾きしうラックを以
 て銃の内部外部とも水気を拭ひとるべし殊
 子ロツクの邊に極めて丁寧拭ひ些少の湿気
 ルらるるぐうに床尾には蠟を少く塗り堅水
 を以て是を擦着し老沢の生むるに至る如此を
 是時ハるる所を美し又湿気を防べし総て発
 砲の理ハ正しく銃を持するを要し若し照星を
 左右に偏する時ハ弾丸ハ偏せし方と趨るなり乃

ち因て於てとるなり今試
 銃を臺上し居へ動揺し
 ぞ木板を標的とすし本込銃
 の薬室を抜き筒中を窺ひ標
 的板の筒中と當る処と標
 的又左右に偏し最の如く標
 點を記す時ハ因の如きの遠
 い生むるあり
 第二集出板の後佛アエース



船垂「コロラド」船脚飛「ヘルマン」船到着を「コロラド」西洋弟四月三日二月廿九日「サンフランシスコ」を出帆し同月廿八日横濱に著し太平洋海飛脚船社中の定期を「より」ハ八日遅滞せり是定て「ニューヨーク」にて別子夏故「り」事と見へたり然まど此悶愁も礼拜日暮に放奔を「著」炮の快聲「り」一時子散散を「り」やうり此船西洋海の傳信機を以て得たる弟四月一日迄の「ニューヨーク」新聞を載来「ま」り

英吉利國

英國太子の妃弟二月廿六日「女子」を産せり然まど近日傳信機にて得たる新聞には産後危病「り」して多「く」ハ状復を得る夏能ハざる至「り」○最「り」ニストル「り」て日本「り」来「り」コロ子ル「り」ニ「ル」南亞米利加「り」キ「り」ト「り」地名「り」使節たり「り」ガ過日「り」キ「り」ト「り」卒「り」セリ
 フ「り」イ「り」ニ「り」ン「り」ア「り」イル「り」ランド「り」ニ「り」於「り」て「り」近「り」頃「り」各「り」處「り」に「り」起「り」り「り」蒸「り」氣「り」車「り」道「り」を「り」破「り」壊「り」し「り」電「り」氣「り」線「り」を「り」截「り」断「り」し「り」ホ「り」リ「り」ズ「り」テ「り」シ「り」ユ

價不廉ちきバ備く買求むる莫能はざるへく○
日本大君へ贈物として佛國よりアラビア馬世
五疋を送り来るコロント官テイニコルル并
ニ佛皇帝の馬人伍長一人別み十二人と共己
ヨマルセルル地を發せり

北シエルマニル國

北シエルマニルハ近年戦争の後アルニアの属
部とありし詳多の國名あり此新合衆部の新會
議官第二月廿四日アルニア王ヲ拜謁を王甚だ

喜悅の色あり此合衆部を管轄する新政事を定
むアルニアハ其統主たり四十三人の大評議官
の内ト七人のアルニアより撰出を○北シエル
マニルニニストルの日本小来るハ「ホンブラン
ド」人を始として此人最アルニアの「コンスル」小
て横濱小来るが今又再び来きり去歲シエル
マニルニ往き時アウストリアの戦争將起
らんとして「ホンフラン」ド民兵國中守る爲に編制に軍隊大
の頭とありて直小戦に趣き乃「モレウイア」國の

總督奉行の副督とちりて「ボヘミア」國に於て數面
戰争の時「コレ」病盛小行ハを成者甚多一弟
一の副督も遂小此に係りて卒に「ホンブランド」
ル亦侵襲を受けて瘡て則「エルマニ」の温湯に
浴せり横濱在留人の希慕せり因て文官に轉
ト「ミニストル」とちりて再此小未きり○北「エ
ルマニ」合衆部の新旗号ハ黑白赤三劃の横線
ちり軍艦の旗号ハ未だ定まらざり

魯西亞國

日本使節波得り達して國帝小謁せり○モスコ
ウにて始めて瓦斯燈を用たり

澳斯太利亞國

國民の希望ふ因て國帝再び別艦を装して使節
を日本へ送る事を許す

西班牙國

國中益々擾乱し國民公然として女王并に評議
官を恨み罵る

意大利亞國

三月十日日 國人逆を謀り國王を刺んと企たり者 ちきどる 幸ふし 此危難を免れり 〇日本へ送り 新「ニストル」コ「リントラトル」人先北京 趣き支那と條約を結んで後日本子未らん

希臘國

ギリシア 近傍の島 数回の地震 巧り人屋を潰壊 数千人を殺せり 合衆國

亞國政府 〇亞米利加州中の魯國領を金を出し 贖もんとし 以價七百二十五万ドル 然れども 亞國中 衆論紛紜 たり 蓋 荒漢無用の地 あり 〇亞國の「ニストル」羅馬在潘を止め たり 余後ハ只「コンスル」を置のこ 〇大卒 海蒸氣飛脚船社中「コスタリカ」船 弟四月一日 奴約を 出帆を 以火船ハ上海横濱の間を往復を 飛脚船 〇日本使節 亞國 之て 諸奇衆 玆 偏覽を 就中 令離術の 試験ハ 實小眼目を 驚り

きり又至斯製造を見る此人七年前に嘗て亞国
に來まり二君此至斯の用久くずして日本に
遍るんと願ふといふる霰彈ライフル彈丸の
製造場を觀て大息して歎ぢり亞人此使人の
像或写真を後華盛頓へ趣きしを

ガンドウイチ島

ガントウイチ島に在溜き者小氷利堅人の
ンリドより贈りたる破船の始末を記し書
積支那人ハワイ島人并に日本八戸喜三郎等

余と同くホノル島よりリベル船に乗じて
ホニコニ日本に向て出帆しし余輩實不産
りし乗一処の船鑑を破壊したり以夜万死を
逃し漸く一々明朝激浪の間を凌ぎて鳴
小達も然まど人煙絶てなく余等小飲水と与
る者さし此島の溜をり二十三日遂に小艇二
艘小別を乗じて一千四百里の海程を経て
ホニア島緯線二十一度経線
百四十五度に趣りんと一舟に八
九人を載たり此舟遂に
余等の同船には二十二人

ろり内子婦人小児共ニ八人なり其艱苦實ニ言
ふざるべし幸くしてガコアム島ニ達せり此島
の鎮臺病者及び衣食住ニ缺乏せり者を中心と
して懇情を盡して遇待撫慰盡實小仁慈深き人也
故に余輩彼が為り何如なる艱苦支件ありと
も心力を尽して其用ニ趣き其江海の恩ヲ謝せ
んとん

慶應四年戊辰五月

萬國新聞紙 第二

萬國新聞紙第二

英國教師 ベーリー先生編

大英國史

紀元八百七十二年より九百一十一年迄
日本貞観十三年より延暦元年迄

「アルフレッド其臣下を愛し防ぎ守り敵と烈しく戦へども最初の臣下を喜ぶに全く王の大勇を志しざり故にアルフレッド大に怒り獵するにや遊ぶを好む者を賤しやうして人民多くハ王を見捨て「テンス」に從ふ者スハ

他國へ出奔せりアルフレツド是非なく貪民の
形ち身をやつし豕を養ふ人の小屋に逃入豕
ろいの眷属の如くして日を送きり豕ろいの
妻恩江をろいの此人のテニス捕へらる夫よ
に逃出したる兵士ちろんと或日アルフレツド
火の側小座し弓矢を作て居りしが此家の妻餅
鉄きろいのをアルフレツド共餅の焼くをね
りし氣と舟呉トと頼み置出行たりアルフレツ
ド固く請合獨坐し自分の因を悪逆ちりテトシ

スの為崩さきし始末を考へ餅の燃る我忘れ
やぐく其家の妻故り餅如何ちりやとを思
の外餅いくをぶてりし故大ひり怒りて去る
い汝毎々我焼しちち我遠慮なく食ちる其餅
を焼くも出来ぬ程の不性奴ちちち大い
謗きり然るふ其後此妻彼のアルフレツド王を
る妻を知り彼を可りしおとを悔しとぞアル
フレツドの笑ひ夫婦の者去りり我汝等の
為る危きを救ひし以恩交して忌むがごとく

○此後のアルフレツドの其民無事たるを賤ま
 ぞ彼等を賢くかさんとせり且我心穏順ちるん
 変を自うら勉めて學べば春京より此王次第
 其心臣を集めハムルセツトシヤイル名地の「エセ
 ルニ」と云処に皆住せり「エセルニ」の地此頃
 の森のわらう小なき島ちり「爰」に王屢「デーン
 ス」襲へり「デーン」スハ「アルフレツド」死せり又
 他國へ逃去しちるんと思ふ故襲ふ者ツグきよ
 きたるを知り「ウエツセツクス」の民ハ其

王を見捨しを甚く悔「アルフレツト」ハ彼等の歎
 く哉「アーン」スを追出きん「ハ」ハ彼等我を助
 んと思ひ私「マ」手紙を「ウエツセツクス」の長
 者「マ」送り其民「ア」曹「ア」着「マ」来る「マ」を命ぞ「ア
 ルフレツド」ハ「デーン」スを襲う前彼「ア」陣營のよ
 ふ「マ」哉「マ」んと思ひ「マ」樂人「マ」身をやつ「マ」琴を手
 持歌の中へ入込り「マ」敵樂を好「マ」し「マ」故彼「マ」が氣「マ」促小
 出入「マ」をゆる「マ」又種々の物を「マ」る「マ」変をもゆ
 ろ「マ」此樂人を疑「マ」は「マ」ざり「マ」し「マ」らて「マ」アルフレツド

級してテインスを襲い大勝利を得たり此敵人
 を朋友となさしめん其長を其長とすその小
 ヲデーレン神を拜するを止んと説きしめて
 英國の東の方を住居とし卒穩に居り北部に往
 き一數多のテインス此暇皆アルフレツドに從
 ぐい遂に英國に穩に立ちたり「タルスメンル二三
 度大軍を卒に來せども此賢き王の爲に遠處
 きたり此王善船を造るを其民に教へ海岸を
 守らし敵近辺に來るを防ぐアルフレツドの

死する前其旗を掲げて一船百艘あり英人航海
 するを學び得て外國と交易を始り此王ハ
 民の爲に數多善事をあそり航海の道を教へ英
 國に民賢く幸いふを日夜勉めてたり
 き國法并に正しく裁判人を民に下し要用する
 吏を李ぶるふをばす太切なり吏を書く李
 校を建て賢き人を索し出して師とすなり此時
 の間アルフレツド烈しく痛病の爲に死すなり
 日々ふおと後へをきとも天に助きを請死する

追働き一と此王ハ其子「エドワーツゼエルドル」
ノ職を譲りて九百一年不死亡り

蒸氣船燈の規則

帆前船及蒸氣船の裏

帆前船及蒸氣船互ハ不突當るべき向方一々
走る時ハ蒸氣船帆前船兩道を退くべし
第十八 蒸氣船其早さ浅遅くする莫
蒸氣船他船不突當らんとする時ハ其早

さ浅おそくするをり余儀ちを時ハ止て後を向
ぎ一ツづきの蒸氣船一ても霧降取ハ中等の早
き一々走るを

一船他船不追付莫

一船他船不追付時ハ其先の船れ道ヲ出べくば
第十八 及蒸氣船及第十七條ノ付

了結事

右の規則一々兩船の一ツ他の者の道を通らば
一々左のケ条ヲ随ハ他の者の其道を保つぞし

非常の場合に於て危き或逃る事

右の規則に随ひ危き事とす。配意を乞ふ。又余
義者も場合を於てハ急に危き或逃る人ら為す
間ハ右の規則に違ふ事有り。如き場合に
よく配意を乞ふ。

毎々當前の用意をおこす

ぶらぶらする事

燈一びを掲ぐるの憶にあらざるは合図をもちの
憶にあらざるは見張の憶にあらざるは水夫業をな

を夏の憶に等しかり

此新聞中ハ垂医「」の引札有り「」ハア
リカ及ハ合衆國に於て数多の病人を取扱は
る。よつて大に熟達し當國に來りハ近比也
とソレども直に日本人の博く知所とちり人
「」日本の薬草を外國人未だ精しく知ざるを大
いに驚かす。彼當國に來り日數十日も過ざる
十年前より當國に滯留の医師未だ見出さざる
薬草を見出さる。是粘魚頭の類。英名サルサベ

リルラ。廉名カツサペルラと云也。此草ハ當港
の近辺ニ數多アリ。多分ハ諸所ニアリ。人若此を
御一見。奇き度御方々ハ百一番。ベリ方へ
御出可被成候。此迄日本人。此草の汁を外国人ト
り高金出して買。が此草日本ニ數多アリ。故こ
れより買ふ。不及却て外国人。をせ。或買。より
ち。ら。び。一。此。一。品。を見。出。せ。の。と。り。て。も。日。本。人
は。大。ハ。ち。り。利。益。と。り。又。當。國。ニ。お。る。そ
ハ。交。易。の。品。の。ち。ら。び。き。藥。中。數。多。あ。る。べ。り。り。

の如き性質の人ハ日本人の爲。ハ實ニ愛。ま。さ。ぶ
き人。ち。り。り。日。本。人。の。爲。ニ。要。用。な。る。を。心。實
ニ種々。此。新。肉。紙。中。ニ。加。へ。り。先。其。中。ニ。て。弟。一。の
事。ハ。日。本。人。十。人。の。内。六。七。人。疾。癩。を。病。を。せ。を。防
ぐ。法。料。治。の。仕。方。等。左。ニ。記。す。

疥癩治療之法報告

此病ハ皮膚の間のこふ。して内身。入。り。と。稀
ち。り。然。ま。ど。も。血。液。不。潔。な。る。を。甚。し。き。は。内
身。入。り。更。も。ま。り。り。此。病。ハ。の。根。元。ハ。小。魚。の。皮

唇^ふ食^く入^るるゆくちり或^{ある}人^{ひと}見^み微^び鏡^{きやう}して此^{この}虫^{むし}をこ
 一^{ひと}其^{その}形^{かたち}ち小^こちる甚^た一^{ひと}短^{たん}髮^{ぱつ}全^{ぜん}身^{しん}を蓋^{おほ}ひ口^{くち}の
 大^{おほ}以^もちら事^{こと}恐^{おそ}ろく八^{はつ}脚^{きゃく}あり進^{しん}退^{たい}是^{こゝ}又^{また}速^{すみ}りる
 脚^{きゃく}の先^{さき}吸^す付^くそのり是^{こゝ}其^{その}食^く入^る一^{ひと}穴^{あな}を
 吸^す付^く是^{こゝ}を離^{はな}さむる甚^たぐく一^{ひと}眼^{まなこ}ちけまど
 小^こ難^{がた}を受^うんとさるるときは龜^{かめ}の如^{ごと}くたちまち頭^{あたま}
 八^{はつ}脚^{きゃく}とも小^こ皆^{みな}ちぐり卵^{たまご}の通^{とお}常^{じょう}十^{じゅう}六^{ろく}宛^{えん}産^{さん}日^{にち}数^{すう}
 凡^{たゞ}十^{じゅう}日^{にち}斗^{たう}りてくる増^ま甚^たぐく速^{すみ}ちり爰^{こゝ}
 此^{この}無^む血^{けつ}虫^{むし}の形^{かたち}ちを番^{ばん}さる所^{ところ}は五^ご百^{ひゃく}倍^{ばい}大^{だい}まうと

二ノ七

一^{ひと}知^しちり

○此^{この}種^{しゆ}物^{ぶつ}の右^{みぎ}記^きせ

虫^{むし}のまふして其^{その}場^ば処^{じょ}の

通^{とお}例^{れい}薄^{はく}き皮^{くわい}の湿^{しつ}い多^{おほ}き

所^{ところ}生^なむ血^{けつ}液^{えき}不^ふ潔^{けつ}ちる

ときハ彼^{かれ}らの食^く物^{ぶつ}とちるもの

多^{おほ}く又^{また}癩^{しか}癩^{しか}の病^{びやう}ハ若^{わか}ハ全^{ぜん}身^{しん}を廣^{ひろ}まをやく

ルすれバ腸^{ちやう}胃^い肝^{かん}臟^{ぞう}マ及^{およ}び昔^{むかし}此^{この}病^{びやう}ハ名^な付^け

て七^{なな}年^{ねん}疥^{せき}癬^{せん}と去^さハ烈^{れつ}くちるり又^{また}愈^より遅^{おそ}く



二ノ八

凡七年の間も煩はし一処を以てかく名付しきり
然とも是の誤りきり血液を全く純粋にせしむる
とすまば新らしき血液を以て以前の血液より
へしむる丈の分量を要せしむるべしこのごとく
血液を變ぢしむるは七ヶ年の間より甚へく
らば○大馬の如き獸より此病はありて人へ傳
染する時の種物のうち通例と云ふ大に異な
る此人の皮膚の獸より細くするゆへなり又
此病に罹る者と一処にゆりてなり其者の体を

と多るしきり傳染する変り此病は洗湯の
如く互に体をよく混合せしめ止むべし治し
がごとくヨウロツパ人の治し方の血液を純粋に
ちん変ちしきりも医者ので簡しよらて種々あり
脈の血液の悪きを直せしむる故に其働きを上げ
まに薬を用ゆるを最上とせ又食物のちよき
とも同品を食まじ他品をくはるをよしとせさ
しきり塩のうき油げしきり肉づきりやまの
魚の食すべしきり魚を毎日食すは人の生の

肉をく飯のやりて小麦の粉を替へーサルサ
ペリラステリンヂヤ職の出る木のるコリダリス「フォルモ
カツサフラス「イエルロードックボルンドック」
血液を純粋にするには最もよき薬品なり日
本より多く生むれども其日本名を未だ知らぬ此
を煎下ろし日本人の煎茶よりまろしあくる
一日二三度ツ、飲バ数度腹を下に一時薬を止
又始めて服を下も此こじくすまば四五ヶ月の
内血液等大に变化すべし之の痲痺なるもの

ハ他の者を一処に水み入るべく又屢入湯
まぐり候隔日小躰を洗ハアルカリ汁塩の多く
入るる「シヤボン」を用ハ速に洗ハ湯ハ成丈暑く
まをとりと入湯の後并に朝夕ハ種物の所
を「アーク」木の名くいのの根の皮を煎ト「バイント」三三
タふ又「コシヨウ」を茶七ユ一をハ「オシンドリ
」半「シンプ」ニ重余ら「硫黄半」シンプ「交合」をて
よく醜入てふり海綿らうひ切て付べし
此おとくまれば大概の痲痺ハ治るまきまどり躰

一 面^ニ生^レト^テり^ル人^ノハ^宜ク^シキ^ニ医^ヲ師^ヲを^呼べ^ル

二 〇 十

慶應四年戊辰五月

萬國新聞紙 第三

萬國新聞紙第三

英國教師 ベーリー編

大英國

日本貴公子徳川民部太輔様歐羅巴諸國ヲ経歴
 スルニ山川ノ奇景数点順覽ニ遂ニロンドン都
 ニ著セリ其時英國ニ於テ高名ナル全權兼通弁
 官アレキサントル右貴公子ヲ案内セシトゾ
 貴公子英國ノ政法ヲ知ランガタメ御供ノ人々
 ト共ニ改衣精粧威儀ヲタツニ給ヒ上院ニ行キ

終へり纏テ外國ノ契ニ係タル筆記者ノ長口ル
 ドスタンレイノ命ニ依テコエーボルト各ヲ
 シテ百般ノ変件ヲ貴公子ニ避通セシム翌四日
 コルドスタンレイノ貴公子及ビ御供ノ人々ヲ
 携へテロンドンニ近キウインス地ノ城ニ導キ
 コ、ニテ英國女王ト對面アルベシ既ニシテ火
 輪車當著セリコノトキ女王ノ士率大勢女王ノ
 旗幟オヨビ太鼓横笛ヲ以テ音楽ヲ奏シ大ニ貴
 公子ヲ尊敬セリ○始メ女王ノ火輪車ニ隻貴公

子ヲ迎ヘンタメニ備ヘリ○何處ニテモ女王及
 ビ女王ノ一族ヨリ大ヒニ敬恭ヲ受シトゾ○貴
 公子如々一覽ノ後諸官人貴公子ヲ奉ジテ夕刻
 ロンドンニ候著セリ翌日貴公子諸器械庫并ニ
 諸軍艦ヲ一覽ノタメ港口へ御出アリコノトキ
 西方ノ風俗ニ從ヒ諸軍艦皆旌旗ヲ揚ゲ祝炮ヲ
 弁ス身体大長ナル志ヲ選舉シテ艦中ニ入ラシ
 メ大炮ヲ連發サシム其響聲歴シテ港口ニ夷ク
 以テ貴公子ノ覽ニ備フマメ港口ノ側ニ平直ナル

場^バ所^トヲエラニ其^{コノ}長^{ナカ}サ六百間^ハナルベシ此^{コノ}如^トニオ
 イテ精^{セイ}密^{ミツ}々^イ製^{セイ}シタル破^ハ裂^{レツ}丸^{ダマ}ノ炮^{ハウ}ヲ備^ビフ貴^キ公^{コウ}子^シ
 諸^{シヨ}高^{カウ}官^{クワン}ト共^{トモ}ニ晝^{チウ}食^{シキ}ノ後^{ノチ}又^{マタ}他^タノ港^{コウ}口^{コウ}ニ至^イリ鉄^{テツ}張^{チヤウ}
 船^{セン}ヲヨビ各^{カク}種^{シュ}ノ舟^{フネ}ヲ一^{ヒト}見^ミセシメ夫^{ソノ}ヨリ諸^{シヨ}器^キ製^{セイ}
 造^{ゾウ}取^{シュ}ニ至^イリ種^{シュ}々^イノ水^{スイ}車^{シャ}等^{トウ}ヲ一^{ヒト}覧^{ラン}スソノ運^{ウン}用^{ヨウ}ノ
 妙^{ミウ}實^{ビツ}ニ日^{ニッ}本^{ポン}人^{ニン}ノ目^メヲヲド口^コカスニ足^タル右^{ウチ}マタ
 大^{ダイ}製^{セイ}鉄^{テツ}知^チニ行^{ユキ}諸^{シヨ}器^キ械^{ケイ}等^{トウ}コトク御^ゴ一^{ヒト}覧^{ラン}アリ
 全^{ゼン}權^{ケン}シユ一^{ヒト}ルト名^ナコ、ロヲモチヒテヨク諸^{シヨ}
 事^ジヲ周^{シユ}旋^{セン}スルニヨツテ貴^キ公^{コウ}子^シヨリ褒^{ホウ}賞^{シヤウ}ヲ賜^{タマ}フ

貴^キ公^{コウ}子^シ外^{ガイ}出^{シュ}ノセツハ英^{エイ}國^{コク}ノ役^{ヤク}人^{ニン}カナラズ保^{ホウ}護^ゴ
 ス一^{ヒト}々^{カク}ヲルドルニヲツトニオイテ兵^{ヘイ}士^シノ操^{ソウ}練^{レン}
 ヲ御^ゴ見^{ケン}物^{ブツ}ナサレ以^ヨ時^{トキ}兵^{ヘイ}士^シ共^{トモ}捧^{ホウ}筒^{トウ}ノ礼^{レイ}ヲ以^ヨテ公^{コウ}
 子^シヲ尊^{ソン}敬^{ケイ}セリ弟^{テイ}四^シ口^{コウ}ジメント^ト長^{チヤウ}ヨリ
 中^{チュウ}食^{シキ}ノ饗^{ケウ}食^{シキ}應^{オウ}アリ○如^{カク}斯^シ貴^キ公^{コウ}子^シノ諸^{シヨ}國^{コク}ヲ經^{ケイ}歷^{レイ}シ
 政^{セイ}儀^ギ堂^{ドウ}ニ行^{ユキ}テハカナラズソノ國^{コク}政^{セイ}ヲ推^{スイ}シ李^リ校^{コウ}
 ヲ過^カシハ必^{カナラ}ズ其^{ソノ}学^{ガク}流^{リウ}ノ順^{ジュン}序^{シヨ}ヲ明^{アカ}ス實^{ジツ}ニ卒^{ソク}生^{セイ}ノ
 行^{ユキ}フ知^チ至^シレリト謂^イツベシ總^{ソウ}テ聞^{ケン}取^{トク}見^{ケン}ルトコロ
 少^スナカラズ公^{コウ}子^シ飯^{ヘン}國^{コク}ノ後^{ノチ}ハ日^{ニッ}本^{ポン}ヲ利^リスルコト

シロベシ○此時ニ當ツテ日本ヲミテ西洋ノ諸
 邦ト互市通商ヲ盛ニセバ國ヲシテ富シムル
 コト必セリ是マタ我輩ノ希望スル所ナリ○曰
 ニア^ニン^アイ^イラ^ラント^トニ^ニノ^ノ逆徒^{キヤク}コ^コント^トニ^ニノ^ノ牢^{ロウ}中^{チュウ}ニ^ニ繫^{ツキ}レ
 タル者如何シテカ逃^{ノカレ}出^{イデ}ント^ト欲^{ホツ}シテ常^{ツチ}ニ^ニ此^{コト}吏^{コト}ノ
 ミ思^{オモ}ヒケル然^{シカ}レドモ牢^{ロウ}ノ四^シ方^{ホウ}ノ堅^{ケン}石^{シキ}障^{セウ}ソノ高^{タカ}
 サ一^{ヒク}丈^{シヤク}五^ゴ尺^{シツ}ソノ幅^{ハバ}下^{シタ}ノ方^{カタ}凡^{オヨソ}二^ニ尺^{シツ}二^ニ寸^{セン}五^ゴト^ト上^ウノ
 幅^{ハバ}一^{ヒク}尺^{シツ}二^ニ寸^{セン}五^ゴト^トアリテ牢^{ロウ}外^{ガイ}ニ^ニ出^{イッ}ル^ルコト^トカ^カタ^タニ
 或^イ夜^ヨ徒^{トウ}ヲ^ヲシ^シテ^テ硝^{シヤウ}某^{ヤク}ヲ^ヲ桶^{オケ}ニ^ニ入^イ手^テ車^{クルマ}ニ^ニノ^ノセ^セテ^テ石^{シキ}障^{セウ}

ノ外^{オホ}ニ^ニオ^オキ^キ竊^{ヒソカ}ニ^ニコ^コレ^レニ^ニ火^ヒヲ^ヲ放^{ハク}テ^テバ^バ桶^{オケ}忽^{タチ}チ^チ破^ヒ裂^レ
 シテ石^{シキ}障^{セウ}ヲ^ヲ破^ヒリ^リ近^キ邊^ヘ大^{ダイ}ニ^ニ震^シ動^ドス^ス築^{ナク}石^{シキ}是^シカ^カタ^タ
 メニ四^シ方^{ホウ}ニ^ニ散^{サン}乱^{ラン}ス^ス近^キ隣^{リン}ノ^ノ家^カヲ^ヲ損^ソズ^ズル^ル者^{モト}怪^ケ我^ガ
 ヲ受^ウル^ル者^{モト}甚^シ多^クニ^ニ即^{ソウ}死^シス^スル^ル者^{モト}四^シ人^{ニン}ソ^ソノ^ノ他^タ半^{ハン}死^シ半^{ハン}
 生^シノ^ノ者^{モト}モ^モア^アル^ルラ^ラジ^ジ○逆^{キヤク}徒^{トウ}七^{シチ}人^{ニン}獄^{ゴク}吏^リノ^ノタ^タメ^メニ^ニ捕^ト
 ワ^ワレ^レ遂^ツニ^ニ縛^{バク}シ^シテ^テ此^{コト}者^{モノ}ヲ^ヲミ^ミル^ルニ^ニ先^{サキ}ニ^ニ桶^{オケ}ヲ^ヲ車^{クルマ}ニ^ニテ
 牢^{ロウ}中^{チュウ}ニ^ニハ^ハコ^コビ^ビシ^シモ^モノ^ノニ^ニ相^サ透^{トウ}ナ^ナシ^シ以^ヲ内^{ウチ}ニ^ニ一^{ヒト}人^{ニン}ノ
 女^メア^アリ^リ是^{コト}ハ^ハ罪^{ザイ}人^{ニン}ノ^ノ中^{チュウ}ノ^ノ妻^{ツメ}ニ^ニシ^シテ^テ脱^{ダツ}ト^トシ^シテ^テ彼^{カレ}ガ
 夫^フヲ^ヲ見^ミ舞^{マイ}コ^コト^トヲ^ヲ免^ユル^ルサ^サレ^レシ^シ者^{モノ}也^{ナリ}○凡^{ソト}テ^テ此^{コト}餘^ヨ徒^{トウ}

審判所^シ工引出^キシテヨク其罪科^ソヲ詰同^キシテ後
 日々^ニ四時^ツ頃^コ廣^コキ庭中^ニ於^テ其罪人^ニ運動^ス
 ヲナサシム是罪人^ハ甚^クダ惡^ムムベキ者トイフド
 モ彼身体^ヲ養^フセシガタメ日々^此コトヲ許^セシ
 トゾ罪人^日々ノ運動^ニ依^テ大^ニ壯^健ニシテ走
 ルコト速^カナリ獄吏^皆ソノ逃^去ニ復^テオソル
 若^シ此罪人^逃去^ルニ至^ラバ仁惠^却テ害^ヲ生^ズル
 二至^ラン^〇牢^ハロンド^ン府^ノ一部^ニアリテ此
 近傍^ハ市街^ニシテ繁花^ノ部^{ナリ}

外^ホ諸^シ職^シ人^シ諸^シ商^シ人^シ委^シシ以^テ者^等日頃^罪人^ノタメニ
 家^ハ勿^ク論^テ怪^カ我^人等^数ヲシラズ夫^故ニ此^恥ヲ遠^ク
 ガケテ他^ニ轉^ス居^スルモノアリ又^右失^フ処^ノ品^ヲ
 物^ト名^トヲ認^メ是^ヲ奉^行所^ニ訴^フ依^テ女^王ヨ
 リ右^ノ者^共エ相^當ノ賜^ヲ下^サレ怪^カ我^人ハ病^院
 エ送^リ太子^{アル}ソルヲ以^テ時^々彼^等ヲ見^舞ハ
 ル〇右^一揆^ノ徒^ハ我^等以^テ新^聞ヲ初^メシ取^ヨリ
 イマダヤマズ賓^ニ可^懼コトナリ以^後如何^ノ新
 聞^ヲ得^ルカソレハ次^ニイフベシ〇アベシユニ

ア國征討ハ大ニ盛ニナリ大軍勢既ニ「セ子フイ」
ニ當著シ共ニ内部ニ進ニテ殘兵ヲ追出セリ○
軍兵ハ壯健ニシテ以國ノ氣候ニ屈スルコトナ
シ又コノ國飲料ノ水清浄ニシテ殊ニ充分セリ
加フルニ此地ノ下民甚心切ナリ○當時國王ノ
行狀正シカラザルヲ以テ國內ニモ逆心ヲ懷ク
モノアリ此王自ラテブラ「各々ホルヲ亡シソノ
隣邑ニ陳シ又進ニテマグラ一ニ至ラントス其
如ハ國內ノ罪人ヲ捕ヘヲクトコロナリ居民王

ニ「タガハント欲スル者ヲ委ク殺セリ」○或夜
風ハ「クタクタ」立クニロンドン府ノクインシー
トル戲場ナリト唱ヘ之「肝殘リナク焼失シソノ
火隣ニ及ビ家賊及ビ劇場ノ諸道具ヲ失フソ
ノ金高五十万ニ過タリ其失火ハ火ヲ以テ物ヲ
製造スル知ヨリアヤマツテ出シト決定ス○横
濱ノ「ミストルリスリ」ハ「手妻真行セルタメ
ニ「アメリカ及「フランス」等エ行レ夫ヨリ「ロンド
ン」當着サレシ右「クインシー」トルニオイテノ用

果^ハサズ故^ニ他^ノ所^ニテ有^リ然^ルヲ右^ニ失^フ火^ノ為^シ用^事ヲ

フランス國

前^ニ新^聞ニ言^フシイタリ^ア國^他ノ權^ヲ受^ゲザル^故ニ
以^テ佛^帝ナボレ^ラ是^ヲヨウロツ^パノ諸^國
エ儀^シマク^ノ説^ヲ得^テヨキ説^ヲ取^ルコトヲ
セ^ンタメナリ[○]ナボレ^ラニト^テル^ニア^テ王^ト進^ス
年^大ニ戦^争セ^シト云^フ今^年兩^國ノ王^相互^ニ新^年
ノ祝^詞セリ是^ニ依^テ兩^國ハ勿^論ヨウロツ^パ全^ク

國^ノ人^民大^ニ安^堵セリ併^後又^フラ^ンス^兵ヲ彼^ノ
國^ヘ加^{フル}コト慎^ムベキコトニテ帝^國ノ安^全
ニツイテ必要^ノコトナリ[○]ヨウロツ^パノ國^ニ
アル如^キ日^ニア^ン一^揆ノ陣^ヲバリ^ス都^内ニ作^ラ
ルヲ見^出セリ[○]ラ^ンス^ノ獄^吏英^國ノロ^ンド
ン^ノ府^ヘ唇^翰數^通ヲ持^来ル其^唇ハ唇^クヲリ^タ
ニア^{政府}エ送^ルモノニシテソ^ノ内^ニ叛^人エ送^ラ
ル所^ノ書^{アリ}其^唇ニ日^ク火^ヲ以^テブリ^タニア^ノ
ノ舟^隊ノ或^部分^ヲ焼^ントアリ[○]帝^諸臣^ニ詔^ヲ

クダシテ曰ク國イマダ全ク是マラズ宜シク兵
カヲ養フベシト依之諸侯ミナソノ用意ヲナシ
ス○英國ト仏國ト互ニ大炮ノ誡ミヲナシム
蓋何レカ銳利ナルヲ審驗センガ為ナリ英國ノ
炮仏ニマサルコト遠シ仏國ノ炮七發目ニ勢ナ
クシテ標的ヲ打ヤブルコトアタハズ十三發目
ニ彈丸但シ破裂丸破裂ヲイタサズ遂ニ用ルコ
トアタハズ佛人は是ヲ耻ラ又別ニ大炮ヲ引出シ
五十發ホド筒ヲ找ハズシテ連發ス

和蘭院國フレチイム國ト互ニ盟ヲ立テ親睦ニ
交リヲ結ビカラ合セテ敵國ヲ防グトナリ又ト
ヘバ他國ヨリ兼國ヲ攻メ襲トキハフレチム國
ヨリ援兵ヲ出シコレガ危難ヲ救フアレチム國
ニ事アルトキハ兼國亦然リ○フレチムヤノ
新羅紙中ニ和蘭院ヲ大ニ賤ミ譏リ且フレチム
ヤノ大名ビスマアークナル者和蘭院國ヲ惡ミ兵
出シテ攻撃セニトノ風說專ラ有之和蘭人コレ

フランゲ國

ヲ聞テ大ニ恐懷セリ

ヨ、スタリア國

テ諸方航海ス○ユインナ

中ニ諸國ノ一年ノ間ニ殺害サレシ者ノ數ヲ記

セリ則左ニ掲タル數ノ内一人ノ割合也サレバ

ロ、マ國ニテ殺害サレシ人ノ數英國ヨリ多キ

コト九百倍ナリ

英國

六十七万五千人

和蘭陀國

十六万三千人

北ゼルマニア國

十万人

フランスタリア國

七万七千人

イスマニア國

四千人

羅馬

七百五十人

イタリア國

先月新羅帝ニ既ニ昏載セシハ頃日重罪人ノ如ク
ヘラレシカリバルテハ頃日重罪人ノ如ク

護送サレ再ビカブレラノ地へ皈ハコトヲ免サ
ル是ムホン人ノゴトキ重罪人ニアラサル故ナ
リ

アメリカ國

當時カハルホルニアハ大ニ繁昌セリ蓋シ耕作者
ハアメリカヲ用スシテ便利ナル器械ヲ用ユ鑽
山ヲ穿ツ者モ亦シカリ勞セズシテ幾多ノ益ヲ
得賓ニ窮理ノ妙惑スルニタエタリ去年收納ス
ル処ノ小麦ヲ算スルニ其價凡千五百万ドルナ

ルベシ綿羊毛諸獸ノ草及ビ穀物ノ價凡二千
万トルニ過テ盛ナルト謂ツベシ勞ヲ省キ利
ヲ得ンガタメ年々新工夫ノ諸器械ヲ發明スル
コト少ナカラズカハルホルニアノ近傍ノ地ハ極
希レニ三寸五分程ノ深サニ迄穿チ齒ヲ用ヒス
シテ英國日本ノ如ク每畑ニ多ク產物ヲ醸スル
コト注意シテ培スレバナリシカレ共以前ハ田
畑ヲ耕作スルコト拙クシテ產物又少シトイフ
○サンフランシスコ國華名國ノ港ヨリ去年ヨリ今

年造ニ小麦ヲ積出スコト六ケ月ノ間ニ五億介
 ヲ運送セリ○勿論コノ地方ノ時侯ヨロシク二
 百八十万町ノ地ヲ耕作ナス中ニ毎及ニ穀物四
 十介ヲ産スユヘニコレヲ算スルニ十一億介ノ
 價凡一億万ドルヲルニ至ルベシ

三十

慶應四年戊辰五月

萬國新聞紙 第 四

萬國新聞紙第四

英國教師 へーリー先生編

佛東西國

佛國ノ太子インペリール壯徳ノタメニ最モ養
 生ヲセララル○日本水府ノ徳川氏部太輔様御
 當今佛國パリス都ニ在留マシマシテ四年ノア
 イタハ諸孝文操練等ヲ学ブコトヲツトメトア
 ソバサレモトヨリ智仁ニマシクテ勇ナル御
 方ユヘ日ナラズシテ御上達アルベシ帝王ナボ

レヲシハモツトモ公^キ子^コノ上^ウ達^{ダツ}シタマフコトヲ
子ガヒ日本ニムカフテ其功^{コウ}ヲアラハサントス
依^ヨテリフテナント、フロ子ル^ルウビイレツトニ
メイジテ教諭^{キョウゴ}ヲ奉^{ホウ}ズ○ヨウロツバヨリ日本^ニ迄^キ
海^{カイ}ニ来^キルベキ迄^キ路^ロヲモトメニタメ北^{キョウ}極^{キョク}ノ迄^キ傍^{ホウ}
ヲ探^{タン}索^{ソク}ノタメ^メ「バリス人^{ジン}ニ施^セス金^{キン}十^{ジウ}万^{マン}兩^{リウ}ニオヨ
ベリ又^{マタ}百^{ヒャク}万^{マン}兩^{リウ}ノ雜^{ザツ}費^ヒヲ以^{モツ}テ「マルシルスニ新^{シン}ニ
港^{ミナト}ヲヒラク○「バリスノ博^{ハク}覽^{ラン}會^{カイ}大^{ダイ}ヒニ群^{グン}集^{シツ}ス日^{ニチ}
本^{ニホン}ノ茶^{チャ}屋^ヤ才^{サイ}ヨビ諸^{ショ}品^{ヒン}ヲオ、ヒニ賞^{ショウ}勳^{クン}ス又^{マタ}三人^{サンニ}

四ノ一

ノ娘^{ムスメ} おうん おきと おまて
服^{フク}ヲメヅラヒトシテ人^{ヒト}々^々ソレヲミル此^{コノ}女子^{ムスメ} 日本^{ニホン}ノ松^{マツ}
ヨク勤^{キン}仕^シシテオレリ○迄^キ比^ヒキビシキ嵐^{ラン}アリテ
メウストイフ大^{ダイ}河^カノ土^ド手^テヲクヅエ諸^{ショ}州^{シュウ}木^キ大^{ダイ}木^キ
トモニコトク吹^{フキ}タラエ又一^{マタ}ヶ村^{ムラ}ノ民^{ミン}家^カコ
トゴトク旋^{セン}風^{フウ}ノタメ屋^ヤ根^ネヲウシナフ實^{ジツ}ニ驚^{オドロク}ク
ベキノ一事^{ジツ}ナリ
ブルシア國^{クニ}
ブルシア王^{オウ}「アラレ^レスノ「エンブタル^{タル}ノアイダニ

四ノ二

オイテ大切ナル談話アリシヨシ○アルニア
エルブトイフ大河アリ河ンボルク地ヲ堀割コ
ノ河ニ大船ヲ通行サセ又橋ヲツタニ諸方ノ通
路ヲヨクセントアルシアノ政府ニオイテコノ
企ヲステニ定是セリトナリ併シソノ橋ノソリ
ニカギリアルユヘ満潮ニイタリテ如何アルベ
キヤ○バンボルクハ今高名ナル港ナルニマタ
右ノゴトクナサバモツトモ繁花ノ地ト成ベシ
北セルマニア國

ベリリアフウールテンボルクバアーデシコノ
國々同盟シテ十二万ノ兵ヲアツメアルシアノ
操練ヲ學ビ旅行ノ用意嚴重ナリ當節ハアルシ
アノ命ヲ以テコトアラシカ

イスハニヤ國
コノ國ヲタヤカナラズ近此一揆ヲヨリ騒動ナ
ストイフ報告ハ傳信機ニテエタリ

トルコ國
トルコ王英國ヨリカエラレテ此度ハ自分オ

モヒタチニテ「ゴ」スタンチノフル地名ニ「イキリ」
ハ風ニナラヒテ武藝ノ大学校ヲ建ラル、ヨシ

スウイツツエル國

日本使節ハ「スウイツツエル」國ヲ出帆シテ「ヨ」
ストリスヘノ道ヲトフリ和彙院國ニユカレシ
ト此使節「ホルン」ニ滞留セルトキ去シ
ニハコノ奇巖ナル國ヲミマフコト大ヒニタノ
・メリトテ数多ノヨキモノヲ進物セリ其ウチ
ニ日本ノ大地面アリシトゾ

佛蘭西國

佛蘭西政府ニテ此度佛國帝ヲヨビ「ヨ」ストリヤ
帝ノ面ニツイテ觸出シタリコノタビ佛國帝ヲ
ヨビ「ヨ」ストリヤ國ノ帝互ヒニ面會セシハ公
吏ヲ議スルニアラズ只「ヨ」ストリヤ國ノ帝ノ
眷屬ツノ兄「メ」キシコノ國帝メクシ「ミ」リシノ殺
害サレシヲ大ヒニ歎クユヘソレヲバナクサメ
ントテ面會セリト「○」イタリヤヨリノ新軍ノタ
メ佛國ニオイテ騷動起レリ傳信機ノタヨリヲ

三ニ佛國政府戦ヒノ用意ヲナスユヘコノ甚チニ
 ハタカヒアラント其國ノ人民甚ダオソレリ
 コノ政府ニ麦カラズ麦オヨビパンニスル粉ヲ
 非常ニタクサン買バ人々ヲシテ歐羅巴ニオイ
 テ戦ヒアルシルシト思ハセシタメナリ去ナガ
 ラ仏國ニオイテハ今年ノ作ハズレシユヘ買シ
 ナラム戦ノヤウイトハ思ハレズコトニ國帝ノ
 近頃ノ業成ニオイテ卒穩ヲ願フテ居ルコトヲ
 アラハセリ○パリスノ博覽會ニオイテ珍物ノ

ノウチニ「バツギイス」ト「ブダ」カミ神ヲ信ズルモノ教
 文ヲイフ道具ヲミルコレハ小サキ箱ニシテ右
 ノカタニトリテアリ若教ヘヲイハントスルト
 キハ只コノトリテヲ廻スノミナリ「バツギイス」
 ト云ニハコノ道具ニテ一日ニ数百二十ノ教文
 ヲイフトキハ常ニ順席ヲタテ賓ニ愚ニタヘタ
 リ歐羅巴人ノ大ヒニワラフベキ処ナリ○「ブレ
 ス」ト仏蘭西ノ内極西ヨリ「ユールク」ヘ傳信機網ヲ
 渡サンタメニ社中出立リコノ綱ハ「ロンドン」ニ

ル

オイテ此セツ造ラレリ此綱ヲワタスタメニ列
レイトイーストルン世叢中ノ最大ナル舟ニシテ長サ六百
全土ノ中ハ八十ニシテ長サ六百「アメ
リカ國ノ舟ノウチニテ大イナル」チヤイナトイ
フ舟ハ長サ三百六十尺ナリサテ此「イーストル
ン」ヲ用ユレバ来年夏中ニハ出来センサスレバ
コレニテ「ロンドン」ヨリ「ニューヨーク」ヘノ便リモ
大ヒニ近クナルユヘ自然歐羅巴ヨリ支那オヨ
ビ日本ヘタヨリヲ通ズルコト甚ダ容易クナル
ベシ

アメリカ國

此國「コロシヤ」ノ或地面ヲ買諸タメ「ベルキンズ」
名トイフ童役ノ者凡三十万兩ノ金ヲ「コロシヤ」
ニオクルコトヲ大棟梁ニ願ヘリ併シ十三年
前ニハ「タイミア」ノ際ニ戰ヲナセリ今ニ忌嫌
ヒシニマタカクノ如キニイタレリ○「ウヨロ
ク」ノアル新國「シ」ニ一奇談アリ「アメリカ」ヨウロ
ツ「パノアイタノ海底」ニ往来ノ穴路ヲ掘メント
「インジ子」ル「土カ」ノ「ガイ」イタセリ賓ニ安言早

ルベシニカンドモ其政府ニオイテハ唯日數ノ
 永キト入費ノオ、キニ亥ヨセテ史セズトナリ
 ソノ金高ヲハカルニ少クトモ二十萬兩ニハ下
 ラズトイヘリ○近比「シツシツシツヒトイフ大
 河ニ橋ヲワタサント企テリ若コノ橋成就セバ
 長キコト世傳第一トナルベシ「アメリカ中ノ國
 々ニコレラ病大ヒニ流行シテ死スルモノオ、
 シ○北アメリカニオイテ「インデヤノ人棟梁ノ
 タメニ大ヒニ苦役サレ飯ル亥アタハズ○此頃

佛國船數多ノ兵士ヲノセテ横濱ヲ出帆ニテ直
 ニ「イールノ名但シ積置処ノ荷物ハ金銀銅
 錢又細工スベキ數種ノ器械オヨビ圓錐形又円
 筒形ノ大炮其外武器等ナリ

フルシヤ及北セルニア
 日本ニテ名人ノキコヘ在手妻連中當著ノ名ノ
 日アラズ一人「ルリン府ニ於テ死去セリ回テ
 其入ノ兄弟死人ノ髻ヲ切り白縞子ノ袋ニ入箱
 ニ納メ故郷ヘ送り爰ニ其地ノ支配人右手妻ヲ

其^{コウキヤウ}行^セ連^シ中^ヘ与^ヘ之^シ是^{コノ}人^ハ元^{モト}因^ルマニ^ラノ^生
 其^{ソノ}金^ヲ連^シ中^ヘ与^ヘ之^シ是^{コノ}人^ハ元^{モト}因^ルマニ^ラノ^生
 レニシテ日本ニ久シク居^キ溜^リセリマ^タ死^シ者^ノ夕^タ
 メニ日本風ノ立^ツ流^ルナル石^キ碑^ヒヲ建^コ立^セリ○^バワ
 リイ^ンノ政^{クニ}司^ル子^ル館^シユイ^{ホル}ト^名ヨリ
 日本ノ種^々ノ珍^キ物^ヲ奇^品ヲ贖^カ求^セント^約定^セシ
 然^シレドモ未^ダ其^{ソノ}價^ヲ拂^ハガ^ルユ^ヘ以^テ總^キ金^高
 万^七千^五百^兩皆^ツ濟^セント^交セ^リ此^{コノ}シ^エイ^{ホル}
 卜^{ナル}者^ハ日本^國ニ久^シク滞^タ留^セシ^人ナ^リ

西^シ印^ン度^ド海^{カイ}諸^{シヨ}島^{トウ}忽^コ然^{ゼン}ト^シテ

西^シ印^ン度^ド海^{カイ}諸^{シヨ}島^{トウ}忽^コ然^{ゼン}ト^シテ^颶風^{フウ}一^{トキ}ニ^吹起^リ
 屋^ヤ瓦^カ飛^ヒ揚^グシ大^{ダイ}樹^{ジュ}傾^ケ倒^ス其^{ソノ}内^ノ日^マス^島ノ^ヲ丸^モ
 甚^シト^ス又^チ地^チ震^シ以^テス^凡テ^人家^カ倒^レル^者万
 ヲ以^テ數^カフ^人民^六蓄^チ死^スル^者ト^マス^ニツ^ク○
 卜^マス^トポ^ルト^リコ^ニ於^テハ^凡波^ハノ^高廿^四丈^ヨ
 程^ニ打^ウ来^テ万^バ物^ヲ海^{カイ}中^ニ卷^マ込^メ大^{ダイ}ナル^損害^ヲナ
 シ^此ニ^ツノ^島ニ^オイ^テハ^大ニ^難儀^スト^ナリ^トボ
 ル^トリ^コハ^イヒ^ギラ^ンド^ニ属^スル^又ト^マス^ハ

「デンマアーク」ニ属スルコレヲノ場如ハ「パナマ」
ト「ヨーロッパ」ノ間ヲ蒸気船ガ通行イタシ又ハ
止ル場如ナリ

日本國

此度江戸ノ近邊ニ於テ大異有之我亦考ルニ速
ニ治ルベシトハ思ハシガタシ事俄ニ依テハ戰
争モアルベシトノ風多モコレアル併我亦ガ思
フ慶ハ莫修テ後日本國ヲ東西南北共ニヒラキ
良政ヲ行フ所奉行ヲ立國中方民又外國人ヲモ

安カラシムベシ○此時ニ當ツテ明君起ラバカ
ナラズ旧染ノ苛政ヲ改メ廣ク歐羅巴洲中ノ政
法ヲ折衷シ互市通商ヲ盛ニシコレガ税金ヲ取
ルノ法其分限ニ應セズンバアルベカラズ國內
ノ諸部ニ李校ヲ設ケ民ノ諸少年ヲ教ヘ貧民ヲ
シテ一ツモ盲目ナカラシムベシ凡人固ヨリ貴
賤ノ區別ナシ唯才智アル者ヲ貴トス然レドモ
或國ノ風俗其血統ナレバ縱令痴愚ナル者ニモ
貴ヲ保ツコト苟モ私ナシニ此別ヲナスハ大ヒ

ニ天理ニ背キ却テ他邦ノ人ノ笑ヒトナルベシ
 コレヲノコト改メスニバ有ベカラズ嗚呼天下
 何モ億兆ノ民ヲ安ジ苛法ヲ改革スル哉○今我
 輩借日本ノ支情ヲ考ルニ函嶺以西ノ諸侯大君
 ノ方ニカヲ尽ス者或ハ火ニキコ、ロヲ以テ大
 君ニカヲ盡サバルモ止ヲ得ザルコトナルベシ
 シカレドモ今大君臣下ヲ撫シ兵カラ強ニナバ
 天下ノ統主トナル莫豈難シト謂フベケニ哉
 ○此度横濱ヨリ江戸表へ諸人毎日往来ナシ場

キガタメニ一艘ノ蒸気船ヲ設ケシ莫ハ我等大
 ニ喜バン但シ價ニ拾匁ヲ一人分ノ船賃トス陸
 地ヲ行ニ駕籠ニ又荷物ノタメニ人足ホノ時此
 船ニテ万端ノ用向ヲ達スルコトコレ辨利ノヒ
 トツト言ベシ

